

AOI・レジデンス・クワルテット

with **高木綾子**
(フルート)

AOI・レジデンス・クワルテットが
衝撃の歴史的名演を聴かせた
バルトークをふたたび。
高木綾子の共演がいろどりを添える。
ベートーヴェン・シリーズは
《ラズモフスキー・セット》完結編。

松原勝也
(ヴァイオリン)

川本嘉子
(ヴァイオラ)

高木綾子
(フルート)

小林美恵
(ヴァイオリン)
©武藤章

河野文昭
(チェロ)

曲目

B.バルトーク：弦楽四重奏曲第3番 Sz.85

W.A.モーツァルト：フルート四重奏曲第3番 八長調 K.Anh.171 (K.285b)

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第9番《ラズモフスキー第3番》八長調 op.59-3

主催：静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛：静岡信用金庫

協賛：アイワ不動産

HARVEST HOMES

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

ホテル センチュリー 静岡

2013

11/9 土

22歳以下
¥1,000

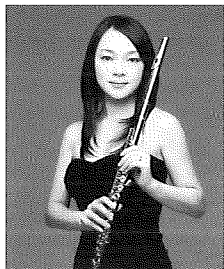
18:00 開演 (17:30 開場)

静岡音楽館AOI ホール (8F)

全指定 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員 ¥3,150)

恒例となった11月のレジデンス・クワルテットのコンサート、いよいよベートーヴェン中期の傑作《ラズモフスキー四重奏曲》第3番が取り上げられます。3曲セットの中では最も明るく力強い作品で、弦楽器4本による交響曲のような音楽にも喩えられ、かつては「英雄四重奏曲」などと呼ばれることもありました。そして、今回のもうひとつの楽しみはフルート奏者の高木綾子氏をゲストに招き、モーツァルトのフルート四重奏曲が演奏されることです。弦楽四重奏曲はヴァイオリン奏者2人とヴィオラ奏者、チェロ奏者による四重奏曲なのですが、第1ヴァイオリンをフルートに置き換えるとフルート四重奏曲という形になります。モーツァルトには4曲のフルート四重奏曲がありますが、今回はその第3番で、きつとどこかで聴いたことのある主題による変奏曲の楽章をもつ軽快で明るい音楽です。そして、バルトークの第3番ですが、これはAOI・レジデンス・クワルテットの、もはや伝説として語られている2004年の圧倒的な名演にまた出会えるのではないかと期待が膨らむ演奏会となるでしょう。

平野昭(慶應義塾大学文学部教授)

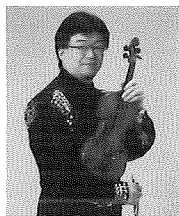


©Yuji Hori

高木綾子 (フルート) Ayako TAKAGI (Fl.)

確かなテクニックと、個性溢れる音色、ジャンルを超えた音楽性で、今最も注目を集める実力派フルート奏者である。テレビ・ラジオへの出演やCM出演など従来のクラシック演奏家の枠にとられない幅広い活動とレパートリーで各方面から注目を集めている。東京藝術大学を経て、同大学院修了。フルートを西村智江、橋本量至、G.ノック、小坂哲也、村上成美、金昌国、P.マイゼンの各氏に、室内楽を岡崎耕治氏に師事。これまで、全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、宝塚バガコンクール優勝、日本フルートコンベンションコンクール優勝、併せてオーディエンス賞、第17回日本管打楽器コンクール・フルート部門第1位及び特別賞、第70回日本音楽コンクール・フルート部門第1位、第12回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、ジャン・ピエール・ランバル国際フルートコンクール第3位、神戸国際フルートコンクール第3位など多数の受賞歴を誇る。一方で、大学在学中より本格的な演奏活動を開始。国内主要オーケストラとの共演はもとより、新イタリア合奏団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、ミラノ弦楽合奏団、サンクトペテルブルク交響楽団、フランツ・リスト室内管弦楽団、パリ室内管弦楽団などと共演。同時に各地でのリサイタルや室内楽など活発な演奏活動を行っている。CD録音も活発に行っており、エイベックス・クラシックス、日本コロムビアより多数リリースしている。現在、東京藝術大学准教授、および洗足学園大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

AOI Residence Quartet with Ayako Takagi



松原勝也 (ヴァイオリン) Katsuya MATSUBARA (Vn.)

1963年東京生まれ。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。クライスラー国際コンクール、ティボール・ヴァルガ国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを歴任。無伴奏リサイタルシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、新曲初演、ジャズミュージシャンとのコラボレーション、即興演奏など幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ウィグモアホールでリサイタルを開催。2001年から2010年まで第一生命ホールで行われた若い演奏家のためのアドヴェント・セミナー、北九州響ホールフェスティバルなどをプロデュース。2012年、東京・春・音楽祭において、J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲の弦楽五重奏版を初演し、好評を得た。また、長崎OMURA室内合奏団の創立当初から共演を重ねており、現在では深い信頼関係を築いている。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティストックアドバイザー、霧島国際音楽祭講師、東京藝術大学音楽学部教授。



川本嘉子 (ヴィオラ) YOSHIKO KAWAMOTO (Va.)

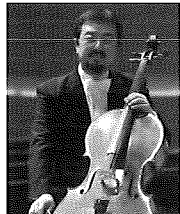
1992年、ジュネーヴ国際音楽コンクール・ヴィオラ部門最高位(1位なしの2位)。96年、村松賞、97年、第7回新日鐵音楽賞・フレッシュアーティスト賞受賞。ソリスト・室内楽奏者として最も活躍しているヴィオラ奏者の1人。京都アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー。桐朋学園でヴァイオリンを江藤俊哉、鈴木愛子、室内楽を末吉保雄、原田幸一郎の各氏に師事。在学中より演奏活動を開始。91年、東京都交響楽団に入団をきっかけにヴィオラに転向。99年より2002年の退団まで首席奏者を務める。タングルウッド、マルボロ、ダボス、東京の夏、霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、別府アルゲリッチ音楽祭(別府)等のフェスティバル、小澤征爾音楽塾、水戸室内管弦楽団等に参加。M.アルゲリッチやY.バシュメットなどと共演し絶賛を博している。C.ミョンフンとも室内楽で日本・韓国公演を行なった。ソリストとして、これまでにG.ベルティニー、J.フルネ、P.マークなどの著名な指揮者と共演。



©武藤章

小林美恵 (ヴァイオリン) Mie KOBAYASHI (Vn.)

東京藝術大学附属高校から大学に学ぶ。1983年、第52回日本音楽コンクール第2位。84年、海外派遣コンクール河合賞受賞。88年にはシエボア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。また、国内でも東京藝術大学安宅賞を受賞した。90年、ロン＝ティボール国際コンクール・ヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝し、以来、リサイタル、オーケストラのソリスト、室内楽等で日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。CDも多数録音しており、2010年9月、ツイゴイェルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」がリリースされた。2010年はデビュー20周年にあたり、紀尾井ホールで記念リサイタルを好演。11月には、ロン＝ティボール国際コンクール・ヴァイオリン部門の審査員として招かれた。現在、昭和音楽大学の教授をつとめ、後進の指導にもあたっている。



河野文昭 (チェロ) Fumiaki KONO (Vc.)

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロサンゼルスで、その後ウーレン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G.ライト、A.ナヴァラの各氏に師事。84年、帰国後は独奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演を重ね、フィンランドの作曲家、J.コッコネンのチェロ協奏曲やイタリアのL.ペリオの無伴奏曲《セクエンツァXIV》などを本邦初演する。また室内楽演奏にも積極的に打ち込み、現在アンサンブルofトウキョウ、紀尾井シンフォニー東京、AOI・レジデンス・クワルテット、岡山潔弦楽四重奏団などのメンバーとして、国内外に幅広く演奏活動を行っている。第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位(81)、京都音楽賞(90)、大阪府文化祭賞(92)、京都府文化賞功労賞(2004)等を受賞。現在、東京藝術大学教授として後進の指導にもあたっている。

講演会 弦楽四重奏の楽しみ方

11/9(土) 16:00~17:30 静岡音楽館AOI・講堂(7階)
講師/平野昭(慶應義塾大学文学部教授)

講演会 “この1曲”をとことん語る

L.v.ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第9番《ラズモフスキー第三番》ハ長調op.59-3
10/12(土) 19:00~20:30 静岡音楽館AOI・講堂(7階)
講師/関本淑乃(静岡音楽館AOI学芸員)

チケットお取扱い

静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)
Tel.054-251-2200

- * 受付時間9:00~21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 一般券以外は、静岡音楽館AOIのみでお取扱いします。
- * クレジットカードでお支払いいただけます。

静岡市清水文化会館マリナート Tel.054-353-8885(月休)
静岡リビング新聞社 Tel.054-255-1231(土・日・祝休)
チケットぴあ(Pコード:186-743) Tel.0570-02-9999

TSUTAYAすみや静岡本店、ベイシム清水水店、アフンシティ浜松、遠鉄百貨店、ザ・えんぎ浜松西インター店、ららぽーと静岡、セブンイレブン、サークルKサンクス(一部店舗・店舗を除く)など

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込のみです。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム時計等の使用はご遠慮ください。
- * 演奏中のご入場はお控えください。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が終わらない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止まりとなっております。開場時間になるまで1階エレベーター前が、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を最優先でご案内いたします)。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。

* 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児はご入場いただけません。

JR静岡駅北口を出てすぐ左 静岡中央郵便局 合同建物内

至 浜松 (有料) ● 駿府博物館 ● 静岡市美術館 ● 松原屋
至 東京 国道1号線

至 浜松 駐輪場(有料) ● ● バルシェ JR静岡駅 ● 静岡科学館・くる
東海道本線・新幹線

* 当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!
CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

開館 9:00~21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9
TEL 054-251-2200 AOI 検索

一般販売 6月15日[土]より
会員先行販売 6月8日[土]より

託児サービス
要事前予約(1週間前まで)・託児料:1人1,000円
すわん Tel.054-255-5377(9:00~21:00)
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。